



ホッピーだより No. 430

2020 年 9 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)

Facebook(@HobetsuMuseum)

最近クリーニングした資料^{しりょう しりょうかい}の紹介：2013～2018年ごろはカムイサウルスの化石クリーニング^{ぼうしゅつ}（剖出）作業を中心的に進めてきましたが、その間もボランティアの方の作業や新任^{しんにん}の学芸補助員^{ほじょ}の練習によって、様々な化石がクリーニングされてきました。また、カムイサウルスのクリーニング^{しゅりょう}終了^{しゅりょう}後にモササウルスやウミガメ化石などが複数^{ふくすう}クリーニングされました。それらの一部を紹介していきます。

最近クリーニングされたモササウルス類



HMG-2009。2011年に採集し、モササウルス穂別博物館第11標本として紹介済み。胴椎^{どうつい}と肋骨^{りゅうこつ}。むかわ町穂別、蝦夷層群^{えぞそうぐん}函淵層^{はふちそう}産。

ホッピーだより No.322^{ほうこく}で報告したモササウルス類のクリーニングが終了^{しゅりょう}しました。9つの胴椎^{どうつい}が関節^{くわんせつ}した状態で保存^{ほぞん}されていたほか、右側の肋骨^{りゅうこつ}も生きていた状態と同じような形で保存^{さんじょう}されていました（バラバラの産状^{さんじょう}ですが、左肋骨も保存されています）。大型で、生きていた時と同じような産状^{さんじょう}の化石なので、生々しく、かなり迫力のある標本です。モササウルス・ホベツエンス^{おおがた}ス *Mosasaurus hobetsuensis* と同じような層準^{そうじゅん}から産出した標本で、形・大きさが似ているので、同種^{こたい}の別個体^{べいこたい}かもしれません。

この化石は中村学芸補助員が5ヵ月間をかけてクリーニングをしました（作業がかなり早い方です）。



HMG-2010。モササウルス類の尾椎骨。むかわ町穂別、蝦夷層群函淵層産。



クリーニング前のノジュール

なお、これらとは別にモササウルス類の頭骨（新規資料）が2点収蔵されています。研究が進み、発表できるようになるまでお待ちください。

2011年に西村智弘普及員（当時）によって採集された脊椎動物化石が、モササウルス類の尾椎であることが明らかになりました。小さな骨の断面がノジュールという岩石の表面にいくつか見えていただけでしたので、クリーニングを進める前は何の化石かは不明でした。

この化石は新任の阿部学芸補助員が約3カ月かけてクリーニングしました。

なお、HMG-2010が発見されたことで、これまで発表した穂別博物館のモササウルス類資料（むかわ町穂別と近隣町産）は計12個体となりました。

HMG-2009、2010は常設展示室に展示しています。



HMG-2009 をクリーニングする
中村正彦学芸補助員



HMG-2010 をクリーニングする
阿部恭子学芸補助員



ウミガメ化石（次回以降紹介）をクリーニングする村上隆ボランティア

学芸員 西村智弘（シンシナティ大学 小西卓哉助教 鑑定協力）

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2020年9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日 〇 町民無料観覧日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合がありますので、ご了承ください。



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。